

令和 6 年度 学校評価書【学校運営協議会用】(計画段階)
 福岡県立 太宰府 高等学校

54

<p>スクール・ミッション (本校の存在意義や社会的役割 目指すべき学校像)</p>	<p>地域の中で自らの夢を見つけ、育み、叶える力」を持った人材を育成する学校 総合的な探究の時間や行事をはじめとした特別活動を中心に、地域と一体となった教育活動を通して、自らの夢を見つけ、一人一人の違いを認めて輝ける人材を育成します。</p>	
<p>スクール・ポリシー (三つの方針)</p>	<p>グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に 関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成に向けて粘り強く取り組み続ける力 ・奉仕の精神を持って他と協調できる人間力 ・生活面を中心とした自己指導能力
	<p>カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に 関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「学び直し」や「振り返り」を通しての基礎学力の定着 ・自己肯定感・自己有用感涵養のための観点別評価の推進や非認知能力育成プログラムの実施 ・進路決定を含む自己実現を目指しての課題解決型学習や上級学校と連携しての体験授業の実施
	<p>アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに 関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学業や特別活動、運動競技・文化活動等の多様な分野においてまじめに努力している人 ・高校生活全般に積極的かつ意欲的に取り組む人

<p>学校運営計画(4月)</p>			
<p>学校運営方針</p>			<p>評価 (総合)</p>
<p>昨年度の成果と課題</p>	<p>年度重点目標</p>	<p>具体的目標</p>	
<p>1 成果 (1)コロナ禍後の学校教育活動正常化の中で、飛梅祭、体育祭、修学旅行等を本来の形態に近づけて実施することが出来、生徒達への教育効果向上に繋がった。 (2)計画的なキャリア教育に基づいた進路指導と授業改善の効果により、生徒の進路意識の明確化と学習意欲の向上を図ることが出来た。</p> <p>2 課題 (1)一層の安全・安心な学校づくりを目指す。 (2)生徒の気質の変化等を踏まえた授業改善を一層推進する必要がある。 (3)生徒の人権意識向上を図り、全ての生徒が安心感を得られる雰囲気醸成を図る。 (4)常に広報活動を意識しながら、情報発信を続ける必要がある。</p>	<p>1 生徒の学習意欲を喚起し、基礎学力を向上させる。 2 基本的な生活習慣を確立させ、自己指導能力の形成につなげる。 3 社会性を身に付けさせるため、ルールやマナーに対する理解を深めさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業改善の方策として、ICT活用やAI型授業を推進するとともに、生徒の進路意識等を十分に把握した魅力ある授業作りを目指す。 ・学年・分掌・教科が連携して、生徒自らが健康面に留意しながら登校し、自発的に学習に取り組むよう指導する。 ・SNSに係る諸教育の充実と、規範意識育成のための対話やホームルーム活動を粘り強く実施する。 	
	<p>4 多面的な評価の推進により、自己肯定感を高める。 5 学校行事を主体的に運営させることで、自己有用感を醸成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアパスポートの活用により、より具体的な自身の目標や進路意識の育成を支援する。 ・職員による指導・助言の下、生徒実行委員会の主体的活動と更なる活性化を図る。 	
	<p>6 進路行事を中心に進路に対する意識向上を図り、進路決定をはじめとするキャリアパスの構築を促す。 7 資格取得を奨励し、合格に向けた支援体制を構築する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・上級学校との連携により、各種ガイダンスや体験授業を通じて、キャリア教育の充実を図る。 ・関連教科と連携し、英語検定や数学検定、漢字検定等各種検定試験に挑戦させる。 	
	<p>8 安全教育を推進し、自身の行動や周囲の環境に潜む危険を察知し、回避する意識を育成する。 9 自己肯定感を高め、多様な他者の理解に努める生徒を育成する。 10 芸術科(美術・書道)教育の内容を充実させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事故防止の観点から環境整備に努め、安全に係るホームルーム活動や日頃の呼びかけを粘り強く重ねていく。 ・ホームルーム活動や行事をはじめとする各種特別活動において集団形成能力を高めさせる。 ・芸術科職員の高い専門性を生かし、教育内容の充実と生徒の進路実現を目指す。 	
	<p>11 積極的な広報活動を展開し、入試志願倍率を向上させる。 12 成年年齢引き下げに伴い、主権者教育を充実させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校体験入学の充実、広報紙やSNSによる積極的な情報発信を行う。 ・公民科の授業や特別活動を活用し、特に3年次における主権者教育の徹底を図る。 	

様式4

評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の項目等	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の結果等
教育支援部 (教務課)	学習意欲の喚起と基礎学力の向上を図る。	一人一台端末の導入にともない、ALの実施・ICTの活用を積極的に行い、魅力的な授業を展開する。研修課と協力して効果的な活用方法を提示し、ICT機器の活用75%以上を目指す。	授業アンケート	
		基礎力診断テストを利用して「学びなおし」を計画的に実施し、生徒の実態に応じた指導を行う。		
	授業時間の確保と円滑に授業・考査を実施すると同時に、校務支援システムの円滑な運用に努める。	「できるまで指導」の粘り強い指導を行い、授業の始め、または最後に「振り返り」の時間を設ける。	授業アンケート	
		年間授業予定をもとに、月別行事予定等の点検を定期的に行う。		
教育支援部 (企画・広報課)	職員一丸となった積極的な広報活動を通して、本校の教育活動の内容と魅力をPRし、入試倍率の向上を目指す。	中学校訪問等を活用して、中学生体験入学(幸高フェスタ)等の行事への中学生の参加者増、および出前授業や一日体験入学等の申込数増を目指す。	新入生アンケート 体育祭中学生向けアンケート 中学生体験入学等の参加者に対するアンケート	
		教務課や進路支援部と連携し、特色化入試で入学した生徒の成長・実績や学力保証・進路保証等についてPRする。		
	校内ICT環境を、教師も生徒も活用できるように整備し、授業や校務のICT化推進や学校行事等の充実に貢献する。	効果的な広報活動を展開するために、学校HPやSNSを週に1回は更新し、リアルタイムに情報を発信する。	授業アンケート 学校生活アンケート いじめアンケート ・情報モラルについての質問	
		情報関係の管理システムを効果的に運用させると共に、生徒指導課や学年と連携し、情報モラルの向上に努める。		
生徒育成部 (生徒指導部)	全職員による生活指導及び積極的な生徒指導体制により、基本的な生活習慣の確立と自己指導能力の育成を図る。	中学校訪問等を活用して、中学生体験入学(幸高フェスタ)等の行事への中学生の参加者増、および出前授業や一日体験入学等の申込数増を目指す。	学校生活アンケート	
		教務課や進路支援部と連携し、特色化入試で入学した生徒の成長・実績や学力保証・進路保証等についてPRする。		
	成果主義ではない過程を重視した集団教育活動の充実を図り、生徒会活動や専門委員会活動、及び学校行事の活性化を図る。	効果的な広報活動を展開するために、学校HPやSNSを週に1回は更新し、リアルタイムに情報を発信する。	学校満足度アンケート ・学校行事、部活動に関する満足度	
		情報関係の管理システムを効果的に運用させると共に、生徒指導課や学年と連携し、情報モラルの向上に努める。		
生徒育成部 (保健課)	生徒の自己管理能力の向上を図り、心身の健康の保持・増進を図る。また、整備委員会、保健委員会の活性化を図り、生徒の主体性を育む。	ルール遵守の動機付けを図り、自ら課題を解決しようとする態度を育成する。	整備委員・保健委員対象の諸活動に関するアンケート	
		教育相談月間を設定し、家庭、学年、分掌、教科、及びSC、SSWとの連携を図り、いじめの未然防止に務める。		
	全ての生徒が安心して学校生活を送れる支援体制を整えとと共に、防災意識を高め、災害発生時に適切な対応と行動がとれるようにする。	毎日の登下校の見守り指導や交通安全教室を行い、事故の未然防止に努める。	学校生活アンケート ・学校生活に関する質問	
		生徒が中心となり諸行事を企画し、生徒主導で円滑に運営できる指導や助言を行う。		
進路支援部 (進学支援課) (就職支援課)	自ら意欲的に進路決定をする姿勢を身に付けさせ、それに向かってチャレンジし努力する生徒を育成する。	学校生活アンケートに関する質問	資格検定試験等の受験者数・合格率	
		緊急時の避難マニュアルや連絡網を作成し、地震と火災及び豪雨災害を想定した訓練を11月に実施する。		
	大学進学希望者や公務員(自衛隊含む)、就職希望者の進路を保障するために、学力補充講座と進路支援の内容を充実させる。	保健だよりの作成と掲示物の有効活用を図り、高等学校保健会行事へも積極的に参加し、保健委員会活動を活性化させる。	進学率・就職率	
		生徒理解をより深めるため職員研修を適宜行う。また、スクールカウンセラーや訪問相談員、専門医、保護者と連携し、生徒理解に繋げる。		
大学進学希望者や公務員(自衛隊含む)、就職希望者の進路を保障するために、学力補充講座と進路支援の内容を充実させる。	各種ガイダンス、大学見学会や外部講師による模擬授業等を実施し、勤労観・職業観の育成をし、必要な進路選択ができるようにする。	進学率・就職率		
	学年・関係教科と連携し、本校生徒の進路実現に合った模試・検定を精選する。			
大学進学希望者や公務員(自衛隊含む)、就職希望者の進路を保障するために、学力補充講座と進路支援の内容を充実させる。	生徒の学習到達度と多様な希望進路に対応した講座を実施する。	進学率・就職率		
	学校推薦型選抜入試に対応するため、小論文(志望理由書等含む)・面接指導の充実を図る。			
大学進学希望者や公務員(自衛隊含む)、就職希望者の進路を保障するために、学力補充講座と進路支援の内容を充実させる。	公務員希望者を対象に外部講師による講座や模試、自衛隊希望者を対象に説明会や面接指導対策、就職希望者を対象に履歴書と面接指導対策などの多様な進路に対応した指導体制を構築する。	進学率・就職率		
	公務員希望者を対象に外部講師による講座や模試、自衛隊希望者を対象に説明会や面接指導対策、就職希望者を対象に履歴書と面接指導対策などの多様な進路に対応した指導体制を構築する。			

様式4

総務部 (研修課)	本校の生徒実態をふまえ、職員研修会のテーマを精選し計画的に実施する。	本校の実態に即した内容で研修プログラムを構築し実践する。	学校生活アンケート ・研修の成果に関する質問	
		県教育センター専門研修等の校外研修受講を推進し、初任研等の基本研修の計画・実施の充実を図る。 研修を通して教職員一人ひとりの人権意識を高め、人権を尊重できる学校環境づくりに努める。		
	教務課と連携し、個々の授業の改善につながる取り組みに努める。	授業研究の機会を確保するために研究授業を計画・実施する。 教務課と連携し、観点別評価およびアクティブラーニング・ICT活用についての研修を実施する。 授業アンケートを実施し、生徒の実態把握と教職員の授業改善の材料とする。	授業アンケート ・授業改善に関する質問	
総務部 (庶務課)	本校教育活動の円滑化を図る行事の企画等を行う。	式典および各行事の要項作成を早め、行事の円滑な遂行を図る。 在校生対象の奨学金制度の案内、申し込み等を行う。 「学校要覧」や「在校生のしおり」の準備を計画的に行う。	学校満足度アンケート	
		行事予定の作成において、学年・分掌・教科等との連携を密に行う。	学校生活アンケート	
	行事予定の作成において、学年・分掌・教科等との連携を密に行う。	職員員の福利厚生環境づくりや、互助会福祉事業を行う。 生徒の実態に応じた授業を展開し、達成感と自己肯定感を喚起する。 生徒の実態に応じた授業を展開し、達成感と自己肯定感を促す。 授業に臨む態度を指導し、落ち着いた学習環境を保持する。	授業アンケート	
学年統括部 (第1学年)	生徒の実態に応じた授業を展開し、生徒が学習に向かう環境を整備する。	あいさつ、服装・頭髪、時間厳守の指導を行うことで、基本的な生活習慣を確立させる。 毎日の授業や行事において、集団の一員であることを自覚させることで、社会性を育む。 生徒が安心して、安全に学校生活を送れる環境づくりを行う。	学校生活アンケート	
		高校生活としての自覚を持たせ、社会性を育む。		
	生徒が学習に向かう環境を整備し、基礎学力をさらに向上させる。	授業において学びなおし、振り返りを行い、基礎学力を定着させ、学習意欲を喚起する。 授業内容を精選して生徒の実態に応じた授業を展開し、達成感と自己肯定感を促す。 各種検定試験前の学力補充講座で対策を行い、準2級10名の合格を目指す。	授業アンケート	
学年統括部 (第2学年)	学校や社会の一員としての自覚を持たせ、社会性を育む。	体験的な活動を通して、様々な学びや気づきを与えるような取り組みを実施していく。 授業や行事において、集団の一員であることを自覚させ、社会性を育む。 各行事を通して協調性を学ばせ、リーダーシップのとれる生徒を育てる。	学校生活アンケート ・生活指導に関する質問	
		生徒が学習に向かう環境を整備し、基礎学力をさらに向上させる。		
	進路実現のため、手厚い指導を行う	英語検定試験前の学力補充講座で対策を行い、2級10名、準2級10名の合格を目指す。 小論文・作文・志望理由書等の書き方指導や面接の指導を学年全職員で行う。 進路の就職担当者と担任が緊密に連携して希望者全員の就職を目指す。	授業アンケート	
学年統括部 (第3学年)	自己肯定感や協調性、積極性を育む。	叱るのではなく諭す指導を徹底する。 生徒が自分達の力で学校行事を成功させたと感じられるようサポートし、達成感を味わわせる。 様々な場面で最高学年であることを強調し、生徒たちにその自覚を促す。	学校生活アンケート ・生活指導に関する質問	
		英語検定試験前の学力補充講座で対策を行い、2級10名、準2級10名の合格を目指す。		
	芸術科広報活動の工夫、改善、強化。	実技講習会受講者と受検者の相関を分析し、広報活動、実技講習会を充実させ、受検者数の安定を目指す。(数値目標 1.2倍) 芸術科広報行事の充実のため中学生対象行事を積極的に開催し、実技講習会を年4回それに伴う中学訪問を実施し、実技優秀者を本校受検へ促す。 芸術科広報媒体の充実のため、ホームページやSNSを活用する。	中学生対象作品鑑賞会アンケート 中高フェスタアンケート 実技講習会受講者に対するアンケート	
芸術科	芸術科教育の充実と進化。	授業改善による芸術科教育の成果の向上と全国規模の公募展や大会への積極的参加。 生徒の主体的な活動を中心とした芸術科行事の運営を行い、集団の中で個性を発揮できる環境をつくる。 他者と協働して臨む雰囲気づくりを行い、地域と連携した芸術活動や芸術科諸行事を成功させる。	授業アンケート 「未来を切り拓く人材育成事業」アンケート 卒業生アンケート	